



防災士よこはま

日本防災士会横浜支部通信

第45号 NO. 045

日本防災士会横浜支部
支部長 今井 淳
事務局長 早乙女善彦

発行日 2019年9月1日

防災の日「横浜市鶴見区矢向地区防災訓練」参加報告

令和元年9月1日(日)の防災の日に、横浜市鶴見区矢向地区において実施された総合防災訓練に日本防災士会横浜支部として地域の皆さんと一緒に防災訓練を実施いたしましたのでご報告いたします。

矢向地区は防災意識が高いことから横浜市から「防災モデル地区」に指定されております。当日も各町内会から約500名近い住民の皆さんが参加されており防災意識の高さを感じました。

日 時:2019年(令和元年)9月1日(日) 10:00~12:00

会 場:横浜市立矢向小学校 横浜市鶴見区矢向3-8-1

参加者:3名 今井・乾・岩見(日本防災士会横浜支部)

関係者:矢向地区連合町会長等、横浜市立矢向小学校(防災拠点)校長他7名、鶴見区防災担当者5名
鶴見消防署矢向出張所長、消防団分団長他6名、川崎市幸区役所危機管理担当者2名参加。

【訓練概要】

9月1日10:00に地震が発生したとの想定に基づき訓練を開始、各町内から続々と避難者が防災拠点の矢向小学校に避難してきました。避難者は受付を済ませて指定された体育館に、その後各班に分かれて、応急救護訓練、心肺蘇生・AEDを校庭におきましては、消火器による消火訓練、スタンドパイプを使用した放水訓練、また矢向小学校は防災モデル地区に指定されており、下水道直結式仮設トイレ(通称:ハマッコトイレ)5個配置されており町会の担当者がトイレの組み立てから設置まで実施して見せました。これまでのトイレとは全く違って組み立ても簡単で、直接下水道に流すことができるので衛生的です。



仮設トイレの組み立て作業中



仮設トイレ内に便座をセット



吹き飛ばされないようロープで展張



下水道直結仮設トイレ設置案内

ハマッコトイレの設置・使用方法

ハマッコトイレの設置・使用方法は、①トイレ設置用のマンホール蓋をバールで外し、中にある塩ビ製内蓋と(トイレ設置時に邪魔になるため)蓋の蝶番を外す→②仮設トイレを組み立てる。まず便器部分を組み立て、シューターの先をマンホール穴に設置する。次に目隠し用のパネルを組み立てトイレの上から覆いかぶせる→③注水口のマンホール蓋をバールで開ける→④注水口にホースを差し込み、水を供給する。一度に必要な水量はおおよそ800ℓでプールなどの水を使用する。

水は手押しポンプや電動ポンプで注水口に送水して使用します。

→⑤500回程度トイレを利用するごとに下水道管に汚物が溜まるので、貯留弁の取手を15秒ほど引き上げトイレ下に溜まっていた汚物を下水道管に流す。流したら貯留弁を閉じ再びポンプで水を汲み入れる。

という手順で行ないます。



避難所となった体育館

今日の防災訓練には、矢向地区の岩見防災士からの防災訓練に防災士として地域の皆さんと一緒に活動をしたいとの要請を受けまして防災士をPRする良い場と思い参加致しました。

このような地域の防災訓練と言う活動の場を得て、防災士として地域の皆さんと共に活動を通じて防災士を知っていただく機会にして行きたい、これからもこのような活動に積極的に参加をして行きます。

文責：今井支部長